

第四期新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会
（第3回）議事要録

- 日時 平成28年11月30日（水）19時～
- 場所 クリーンセンター3F 見学者ホール
- 出席 小澤紀美子会長、水谷俊博副会長、早川峻委員、高橋豊委員、村井寿夫委員、塩澤誠一郎委員、藻谷征子委員、島英二委員、興梠信子委員、木村文委員、千綿澄子委員、岡田敬一委員、平田昭虎委員、山崎君枝委員、越智征夫委員、高石優委員、島森和子委員、花俣延博委員、新垣俊彦委員
事務局（堀井副市長、木村参事他）
コンサルタント（株式会社日建設計 高津敬俊部長他）、傍聴者3名
- 欠席 高橋健一委員
- 配布資料 1. 第2回協議会（9月28日開催）以降の動向について
2. エコプラザの検討の考え方について
3. 「第四期新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備事業基本構想（案）」
提言（塩澤委員作成資料）
4. 5つのつぶやきとエコプラザ（塩澤委員作成資料）
5. 新工場棟屋上機械室へのルーバー設置について

1. これまでの経過

- ・「第2回協議会（9月28日開催）以降の動向について」について事務局より説明を行った。
- ・委員 資料1の1ページに「2 西側外構計画検討方法について」と記載されているが、北側のエリアについても議論しているため、北側のエリアも含めた形で、次回はお願いしたい。
- ・参事 エコプラザに関する議論の完了後は、西側部分、北エリアを含めて議論に入っていこうということを含んでいるが、この意見交換会の際は、クリーンセンターの敷地内に関する議論であったため、現状の記載内容となっている。北エリアも含めて、次のステップとして議論していくと考えているため、記載をする。

2. エコプラザについて

- ・「エコプラザの検討の考え方について」について事務局より説明を行い、その後、『第四期新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備事業基本構想（案）』提言、及び「5つのつぶやきとエコプラザ」について委員より説明を行った。
- ・委員 いろいろな人がいて、声をかければ来てもらえると、仕事が上手くいくということもある。お年寄りでできない人もいるし、自分では材料や技術がわからないがやってほしいという相談が来たら、いろいろな相談を受けて、何とかできる、そういうエコプラザになれば面白いと思う。
- ・会長 相談機能を活用できるように、そしてそれが新たな雇用につながるという意見として受けとめる。
- ・委員 全部一通り自分で持たなくてもシェアできるという感覚は、たくさんあると思う。だか

ら、私たち集合住宅などにいると、狭いところに住んでいるから、物を持ってない。工房的な場所もない。でも、リサイクルするものとして出てくるものには、皆で使えばいいというようなものが結構たくさんある。使える場所があって、一緒に活動できる場所というのは、皆さんに非常に喜ばれるだろうと感じた。

- **会長** 前向きな意見として、この方向で検討を進めてほしいという意見として受けとめる。
- **委員** すごくよくまとまってきて、僕らの考えていることができていて、少し引いて考えると、市役所に来た人や、クリーンセンターに見学に来た人たちが引き込まれるまでの、何かもう1つ、今、事業が2つあるが、何か魅力づけというのが何なのかというのがあり、その辺をもっと一般的な人の目線で考えていかないと、ひとりよがりな施設になりそうな感じがした。先ほど、物を集めてストックしていく、皆で作るといふのがあつたが、その次として、それがどのように整理されていたり、引き出しがたくさんあつて、あけると自分がほしいものがあったりといふところにつながつていくと、例えば、1個だけボタンがほしいときに、あそこに行つたらあるかもしれないといふことや、自転車のねじを1個ほしいけれど、あそこにあるのではないかといふ感じがあつると、僕などは行く動機はある。行つて、わかりやすく、また何かあつたときに行こうといふように、一番初歩的なところでキャッチするものがある、その中でプロジェクトがどんどん動いてくると、いろいろなものに派生していくのだと思ふ。
- **会長** 貴重な意見なので、年明けて、それから次の新しい方が入つた会議でも、継続して議論していかなければいけないところだと思ふ。
- **副会長** すごく盛りだくさんのすばらしい提言だと思ふが、個人的な感想で、9ページの「④カフェ、ショップ、その他の運営（要検討）」と、ここがとても重要ではないかと、特にその他の運営がどういふ可能性があるのかなといふことが重要かと思ふ。事業の案などは非常に魅力的であるが、企画的な事業の項目も多いので、実際、特に事業を何もやつていないときに、この施設がどういふことを提供できるのか。例えば要らない本を集めて、環境をテーマにした本があつて勉強できたり、そうすると若い中高生たちも、ある時間滞在したり。どこを目指すかといふところ。極端であるが、建物自体がアートになっているといふように仕上げることや、アーティストの工房として、すごくハイエンドなところを目指すなど、どのようにキャラクターづけをするかといふことを議論し、それがベースにあつて、様々な事業展開をしていく。限られた中で、どうやつていくかといふことを少し考えていければいいかと思ふ。
- **委員** 先ほど委員や副会長の言われたことと関連するが、具体的にいろいろな事業やプロジェクトをしようと思つても、やりたいことはもちろんいっぱいあるが、実際には人材を掘り起こすといふのは、すごく大変なことだと思つていて。このエコプラザに市民の人が自然に来られる場所。もちろん、仕掛けなければいけないが、そうではなくて、例えば、このクリーンセンター、エコプラザに関してだと、古着屋でリサイクルされて町中でも売つていふものもある。何かを壊して作つて洋服を作れるような仕掛けがどこかにあつて、古着そのものもいいし、またそれを作つてみたいと、見て思つたら、それを教えてくれる人がいるとか。女性の目線からいふと、布を利用してバッグを作るなり、しかも売つていふ。寄つて買うこともできる。そういう場所があつたら。それから、こういうところにも子どもを遊ばせられる場所があつて、遊び場の中に、木の廃材を使つた積み木などがあつて、廃材を利用してできるのだといふことを知つてもらえれば、それも1つの効果かと思ふ。また、そういうものを作つてみたいといふ方が現れたら、興味を持った方は作ることができるとか、買うこともできるとか。または要

らなくなったものを誰かに利用してもらい、そういうものも置いてあって、それを交換してリサイクルするようなイメージがある。あとはカフェもそうだが、クリーンセンターの関連といえども、そういうことが1つでも2つでもあると、行って楽しくなるというか、ぶらっと、寄れる場所が1つあるといいとは思っている。

- **会長** 魅力的な場にするために幾つかのアイデアと、ただやはりどういうふうに進めていくかというスケジュール的なところ、どこから進めるのかという意見として受けとめる。
- **委員** 今の指摘は本当にそのとおりだと思う。今日、少し遅れたのは出張帰りで、富山と金沢に行ってきた、金沢では21世紀美術館に行ってきた。あそこも恒久展示作品が幾つかあって、開催している展示を見なくても、その恒久展示はいつでも誰でも見られるようになっている。しかもあそこは、夜間もフリースペースに入ることができて、ショップもカフェも利用できるということで、すごくにぎわっていた。最近、恒久展示を設置する美術館も増えてきて、恒久展示だけでもかなり見応えがあるので、それにひかれて来る人が多い。村井委員がおっしゃったような魅力づけの要素は必要だと考えている。私自身も思っていたのは、カフェやショップ、それから展示も、どういう魅力づけをするかという部分で、すごく重要になってくる部分だと思う。今後、具体的に考えていけばいいと思っている。それから、素材ライブラリーも、どういう素材をどういうふうに表示していくかというやり方もあると思う。素材ライブラリーに展示事業、それからカフェとかショップを、空間づくりと一体で考えていく必要があると考えている。空間も、エコプラザの空間だけでなく、広場も含めて考えていく部分だと思う。それと、島森委員がおっしゃっていた衣食住は、エコプラザ全体の中で衣食住にかかわる部分、しかも市民生活にすごく密接にかかわる部分としてどう取り組むかという話だと思うので、これは、今の協議会だけの議論ではなく、今後の市民会議の中でも議論していく話だと思う。その中でも具体的に議論していけばいいと思っている。文言として、どこに入れるかというのは後で検討する。
- **委員** 今、けやきコミセンで毎月カフェをやっている。モヤモヤ・カフェというのはいい。いろいろな人が、いろいろな話を出してくるから、本当に世の中いろいろなことがあるのかと思うぐらい、世の中の視野が広がる。いろいろと相談したいことがある。
- **委員** この中に書き込まれていないのが、建物で、エコプラザという1つの施設として考えているが、その範囲は、芝生広場や雑木林などを全部包含し、特に自然教育をやるのだったら、全部の空間性を利用してというようなところをエコプラザの範囲として、この中に書き込めばいいのではないか。魅力づくりをそこで考えていくのがいいのかと感じる。そうすれば、雑木などの配置も、これから検討の余地があるのではないか。あるいは、夏の魅力で水をどこかに溜めるとか、たき火をする場所を作るとか、そういうようなこともできるのではないか。
- **会長** 個々の体験は非常によくわかるため、それをどのようにエコプラザの方向性として考えていくかということで、委員の意見も含めて考えていきたいと思う。1つ住まいのことについて言うと、江戸川区では、個々の家が狭く、個々の家で建て替えをすると、風も光も入らない。ある区画で、模型をつくりながら建て替えを考える、ワークショップを開催した。そこに専門家の方がアドバイスをすると、光も風も駐車場もできる。そういう専門家、全部ボランティアというのは難しいと思うが、そういったところもこれから方向性として考えて、来年4月以降、市民会議を含めたところでも検討していき、具体的にしていけばと思う。

3. 新工場棟屋上機械室へのルーバー設置について

- ・「新工場棟屋上機械室へのルーバー設置について」について事務局より説明を行った。
- ・**副会長** 構造上などいろいろな意味で、この方法しかできなかった。デザイン的には、ちょうど立面上というか、下の本体のルーバーと同じ位置にルーバーを通し、しかも本体と同じ色合わせをできる、素材が違うので多少変わるとは思うが、できるだけ同じ色にするということと、ルーバーの形・大きさもそろえているため、よく見ないと、下から見てもわからないかもしれない。そこまでこだわりを持ってアドバイスをしている。
- ・**会長** グリーンカーテンが設置されるのは来年2月以降ということになる。そうすると、いろいろなことが見えるし、試運転が12月12日から始まるということで、いろいろと委員各位も意見を出していただきたい。
- ・**委員** きょう市役所の8階から真下をのぞき込んだら、建物の全景、屋上が見えるが、グリーンスペースの脇にプレハブ小屋のようなものが見えた。
- ・**参事** 後で場所を確認させていただく。

4. その他

- ・**参事** 今回は12月12日の作業部会ということでお願いします。先ほど会長からも案内があったように、12月12日から、ごみの受け入れの試運転を開始するが、周辺協議会の委員各位には、突然ではあるが、今週土曜日の9時もしくは1時に施設の御案内をしたい。お越しいただける方は、土曜日の9時もしくは1時にクリーンセンターの1階にお集まりいただければ、1時間ほどで御案内したいと思う。都合がよろしければその時間にお越し頂きたい。もし、都合が悪い方は個別に言っていただければ案内する。

以上